

法政大学大原社会問題研究所

所 報

(2003.3.1～3.31)

人事(3月31日付)

退任 所長 早川征一郎

退任 運営委員

川上 忠雄 (経済学部教授)

岡野内 正 (社会学部教授)

相良 匡俊 (同)

退職 門崎 忠政 学務課付主事

刊行物

『大原社会問題研究所雑誌』533号(2003年4月)

『21世紀「労働組合に未来はあるか?」』(ワーキング・ペーパーNo.13)

図書受入

	和 書	洋 書	計
購 入	51	5	56
受 贈	42	0	42
合 計	93	5	98

閲覧サービス

閲覧

開館日数 24日

閲覧人員 25名

貸出図書 89冊

コピーサービス

学外 19件 3529枚

学内 6件 79枚

日 誌

- 2日 二部(法学部,経済学部,社会学部)入試
5日 『日本労働年鑑』編集会議
10日 見学来所:本多和明氏(部落解放・人権研究所)
12日 『日本労働年鑑』編集会議
15日 労働政策研究会
報告者 岡部晃三(元労働事務次官)
テーマ 「労働省時代の思い出-労働政策

形成の仕組みとプロセスを中心に-

18日 事務会議

19日 運営委員会

議題 諸報告

嘱託研究員の募集案内について

研究プロジェクトの公募について

客員研究員(海外)のWebサイトでの

募集案内について

その他

『日本労働年鑑』編集会議

20日 見学来所:松田博氏(京都大学大学院文学研究科・文学部)

26日 研究員会議

月例研究会

報告者 高橋彦博

テーマ 「協調会,中央労働学園における大河内一男」

退職者送別会

28日 銀行労働研究会より全銀連,地銀連関係資料受贈(段ボール58箱)

29日 加齢過程における福祉研究会

報告者 木村徳秀氏(東京保険医協会事務局次長)

テーマ 「診療報酬・介護報酬の老人医療・福祉への影響」

大原社会問題研究所雑誌 No.536(2003年7月号)

2003年7月25日発行

定価 1,000円(本体952円),年間購読料12,000円

編集(兼)発行人 法政大学大原社会問題研究所

所長 相田利雄

〒194-0298 東京都町田市相原町 4342

電話 042(783)2307

投稿募集

本誌は社会・労働問題に対する論文、調査報告を募集しております。下記の規定に基づいてご投稿下さい。

投稿規定

1. 投稿原稿は2部とし、ワープロ作成による未発表のものに限ります。
2. 原稿の分量は、原則として20,000字以内（図表を含む）とします。
3. 原稿には、審査に資するため、600字以内の要約を添付してください。
4. 原稿の採否は、本誌編集委員会が指定する審査員の査読を経て、本誌編集委員会が決定します。
5. 初めて投稿される方は、研究歴など簡単な履歴を添付してください。
6. 掲載原稿には、所定の原稿料をお支払いいたします。

【原稿送付先】

〒197-0298 東京都町田市相原4324

法政大学大原社会問題研究所

『大原社会問題研究所雑誌』編集委員会

論文執筆要領

論文を執筆される場合には、下記の点に留意してください。

執筆者校正の際には、原則として原稿を返却しませんので、原稿のコピーを確保しておいて下さい。

原稿をプリントアウトする場合には、ある程度の行間を取って下さい。

- 1 一般的な原則
 - 横書きとする。
 - タイトル、氏名の次に簡単な目次をつける。
 - 原稿の最後に、執筆者名（ひらがな）、肩書き（所属、職名）を記入する。肩書きは大学の場合には、学部、研究所等の名称まで表記する。
 - 注をつける場合には、各章ごとに分割せず、最後に一括し、通し番号をつける。
 - 図、地図などは、可能な限りトレース済のものを提出する。
- 2 注記の方式
 - 日本語の図書・論文の場合
 - A. 日本語で書かれた図書については、著者名、書名（書名は『 』で囲む）、出版社名、発行年（原則として西暦）の順に書く。ページ数を記入する場合には、発行年の次に記入する。
 - B. 著者が2人の場合には、両者の姓名を書く。3人以上の場合には、「 他」の方式も可とする。
 - C. 論文については、執筆者名、論文名（「 」で囲む）、掲載雑誌名（『 』で囲む）、巻号、発行年月日の順に書く。
 - D. 注の最後は、かならず「。」で止める。
 - 欧文の図書・論文の場合
 - A. 欧文の図書については、著者名、書名、発行地（あるいは出版社名）、出版年を書く。書名は、イタリックにするので、下線を引くなどして書名の部分を他の部分と区別する。
 - B. 論文の掲載雑誌名は、イタリックとする。
 - C. 再出を示す「ibid.」「op. cit.」などもイタリックにする。
 - D. 注の最後は、かならず「。」で止める。

以上